

育ちと学びをつなぐ 幼児教育と 小・中学校教育の 連携・接続研修



学習指導要領総則などでは、小学校以降の教科等の学びは、ゼロからスタートするのではなく、幼児期に「遊び」を通して育まれた主体性や、身に付けた資質・能力を生かして、伸ばしながらつないでいくことが大切であると示されています。

主体的・協働的な学びによる「確かな学力の育成」に向けて、幼保小中の先生方がともに学ぶ研修会を実施します。

NO.1

2022 7/29 金

令和4年度 幼児教育の理解・発展推進事業
幼稚園教育課程研究協議会

校種を超えて「気になる子」が溶け込む集団づくり
かかわりをつなぐ

「気になる子」「発達障がい」「特別支援」これらのキーワードでの学びの必要感は、学校種問わず高まっています。「なんだかうまいかない」と感じながら毎日実践されている先生方。前半は、講義を通して「どうしたらうまくいくのか」

「明日から何を変えればいいのか」、ヒントを見つけ、スキルを磨きます。後半は、2つの園の実践発表から、幼小の連携・接続や地域・保護者とのつながりについて学びを深めます。



名城大学教職センター
教授 曾山 和彦 氏

NO.2

2022 9/26 月

令和4年度
幼保小接続推進のための研修会

幼児教育と
小学校教育の接続
遊びの中の学びから自覚的な学びへ

主体的・協働的な学びは、分からないことがあったら自分で考え、考えても分からなければ、聞いたり調べたりして、他者と協働して解決していくことが、はじめの一歩。幼稚園・保育園等では、自発的活動としての遊びを通して、

その根っこを育みます。幼保小の実践事例を通して、子供の「～したい」を学びにつなげる保育者・教師の工夫や、幼児教育と小学校教育の共通項、小学校ならではの自覚的学びを促す方法などについて考え、学びを深めます。



國學院大学 人間開発学部 子ども支援学科
准教授 吉永 安里 氏

NO.3

2023 1/24 火

令和4年度
学習指導力向上研修【第3回】

確かな学力の
育成につながる
個別最適な学び・協働的な学びの充実

児童生徒の資質・能力育成のため、個に応じた学習課題や学習活動に取り組む機会(個別最適な学び)と、多様な他者と協働した探究的な学び合い(協働的な学び)を一体的に充実していくことが大切です。

実践事例を通して、各学校や園を取り巻く地域や子供の実情を踏まえながら、どのように実践していけばいいのか考え、学びを深めます。



上智大学 総合人間科学部 教育学科
教授 奈須 正裕 氏

それぞれの研修に
ついての詳細は、
後日お送りする資料
(実施要項・広報)
でご確認ください。

No. 1、No. 2 は、
「教職3年次フ
ォローアップ研
修」「ステー
ジアップ研
修」の校外研
修として選
択することができます。
ご確認ください。